

ダイワ／ジャナス米国中型 グロース株ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第15期

(決算日 2025年4月18日)

(作成対象期間 2024年10月19日～2025年4月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の中型株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<2750>
<2751>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2017年10月19日～2027年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録(上場予定および店頭登録予定を含みます。)の株式(DR(預託証券)を含みます。)および不動産投資信託証券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース)		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
11期末(2023年4月18日)	11,493	40	10.8	17,354	13.6	95.0	—	2.0	692
12期末(2023年10月18日)	10,843	200	△ 3.9	18,383	5.9	95.4	—	1.6	528
13期末(2024年4月18日)	11,603	100	7.9	21,224	15.5	91.9	—	1.3	514
14期末(2024年10月18日)	11,910	850	10.0	24,806	16.9	95.0	—	1.7	442
15期末(2025年4月18日)	10,126	0	△ 15.0	22,537	△ 9.1	93.5	—	1.8	357

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

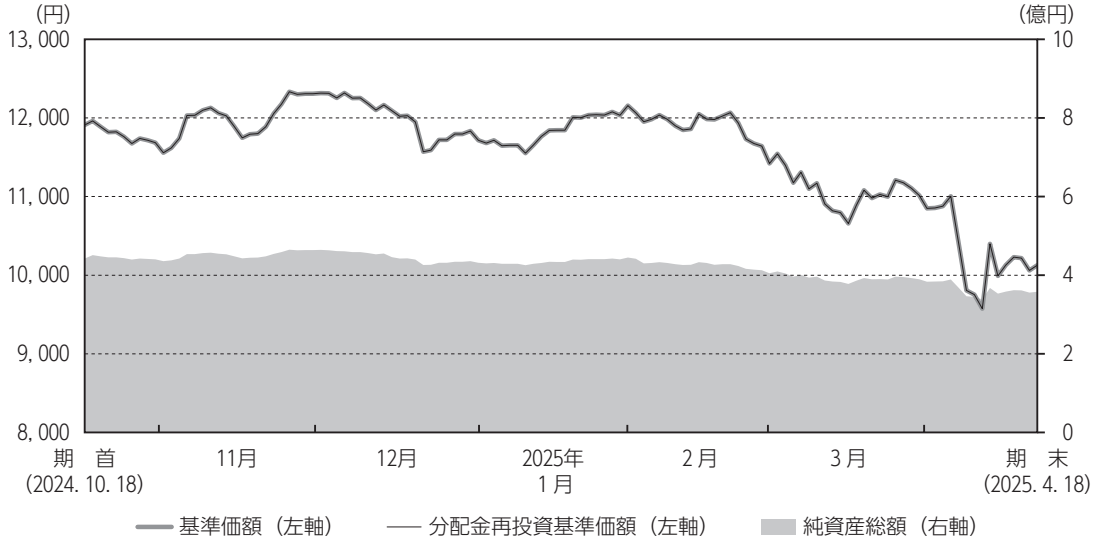
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：11,910円

期末：10,126円 (分配金0円)

騰落率：△15.0% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市況が下落したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数（税引後 配当込み、米ドルベース） （参考指数）		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期首)2024年10月18日	円	%			%	%	%
	11,910	—	24,806	—	95.0	—	1.7
10月末	11,685	△ 1.9	24,690	△ 0.5	94.6	—	1.8
11月末	12,307	3.3	25,499	2.8	91.3	—	1.6
12月末	11,717	△ 1.6	25,402	2.4	95.5	—	1.6
2025年1月末	12,156	2.1	25,844	4.2	92.9	—	1.6
2月末	11,421	△ 4.1	24,972	0.7	95.5	—	1.7
3月末	10,850	△ 8.9	23,798	△ 4.1	98.4	—	1.8
(期末)2025年4月18日	10,126	△ 15.0	22,537	△ 9.1	93.5	—	1.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 10. 19 ～ 2025. 4. 18）

■米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、2024年11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことなどから、当作成期首より上昇しました。12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、株価は下落しました。4月初めに公表された関税政策は市場予想を上回る厳しい内容となり、株価はさらに下落して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性があるかとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

ポートフォリオについて

（2024. 10. 19 ～ 2025. 4. 18）

当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行いました。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

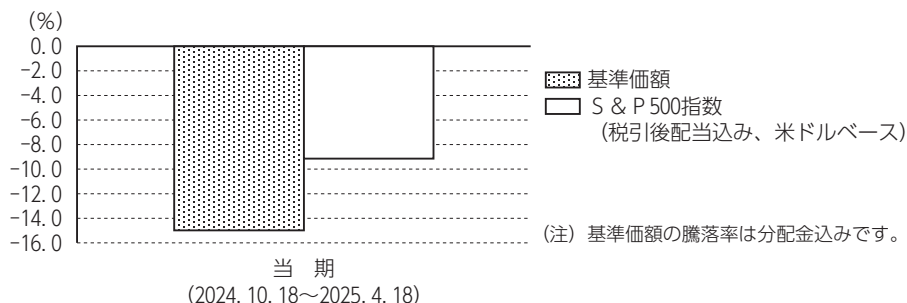
当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

セクター別では、関税引き上げによる影響が比較的少ないとみている金融と、相場変動時におけるディフェンシブ性、AI（人工知能）の利用拡大を受けた電力需要の増加による恩恵が期待できる公益事業の比率を引き上げました。一方で、FDA（米国食品医薬品局）の人員削減などの悪影響が懸念されるヘルスケアと関税引き上げが重しになると予想される資本財・サービスの比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2024年10月19日 ～2025年4月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,132

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスク低減のため為替ヘッジを行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざしていく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 10. 19～2025. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	104円	0.894%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,586円です。
(投 信 会 社)	(54)	(0.466)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.006	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.006)	
(投 資 証 券)	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(投 資 証 券)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	3	0.024	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	107	0.924	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

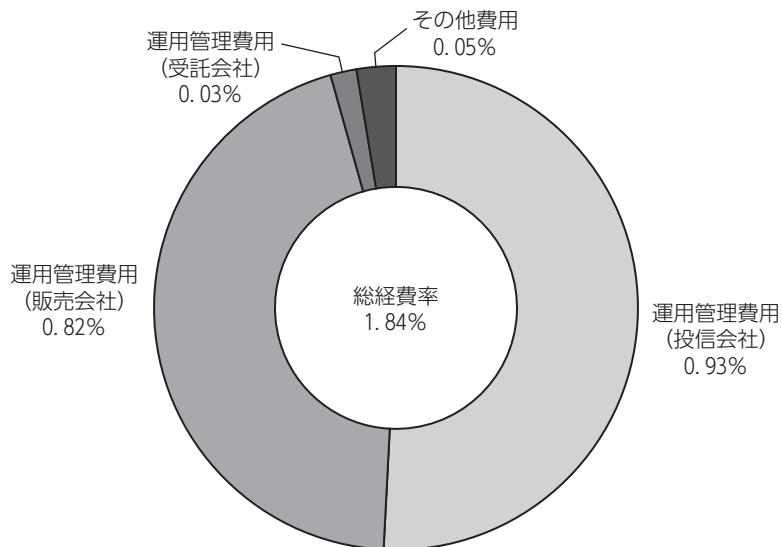
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年10月19日から2025年4月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	16,326	47,900	24,061	74,870

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年10月19日から2025年4月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,292,344千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,719,805千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.22

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	149,822	142,087	353,812

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	353,812	97.8
コール・ローン等、その他	7,988	2.2
投資信託財産総額	361,801	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.46円です。

(注3) ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,712,338千円)の投資信託財産総額(4,745,226千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	710,944,325円
コール・ローン等	6,146,586
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド(評価額)	353,812,713
未収入金	350,985,026
(B) 負債	352,948,817
未払金	349,142,880
未払信託報酬	3,794,394
その他未払費用	11,543
(C) 純資産総額(A-B)	357,995,508
元本	353,547,535
次期繰越損益金	4,447,973
(D) 受益権総口数	353,547,535口
1万口当り基準価額(C/D)	10,126円

* 期首における元本額は371,258,034円、当作成期間中における追加設定元本額は5,640,630円、同解約元本額は23,351,129円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,126円です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）

■損益の状況

当期 自 2024年10月19日 至 2025年4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	7,669円
受取利息	7,669
(B) 有価証券売買損益	△ 59,257,909
売買益	64,729,069
売買損	△ 123,986,978
(C) 信託報酬等	△ 3,812,949
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 63,063,189
(E) 前期繰越損益金	33,736,431
(F) 追加信託差損益金	33,774,731
(配当等相当額)	(36,960,793)
(売買損益相当額)	(△ 3,186,062)
(G) 合計 (D + E + F)	4,447,973
次期繰越損益金 (G)	4,447,973
追加信託差損益金	33,774,731
(配当等相当額)	(36,960,793)
(売買損益相当額)	(△ 3,186,062)
分配準備積立金	38,421,757
繰越損益金	△ 67,748,515

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：1,057,472円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	36,960,793
(d) 分配準備積立金	38,421,757
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	75,382,550
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	75,382,550
(h) 受益権総口数	353,547,535口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
11期末(2023年4月18日)	14,372	0	3.3	20,653	2.6	94.4	—	1.9	5,272
12期末(2023年10月18日)	15,118	700	10.1	24,380	18.0	94.1	—	1.6	5,222
13期末(2024年4月18日)	15,885	1,500	15.0	29,014	19.0	91.9	—	1.3	5,260
14期末(2024年10月18日)	16,492	900	9.5	32,959	13.6	93.6	—	1.7	5,445
15期末(2025年4月18日)	13,593	0	△ 17.6	28,415	△ 13.8	94.6	—	1.8	4,386

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（税引後配当込み、円換算）は、S & P 500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

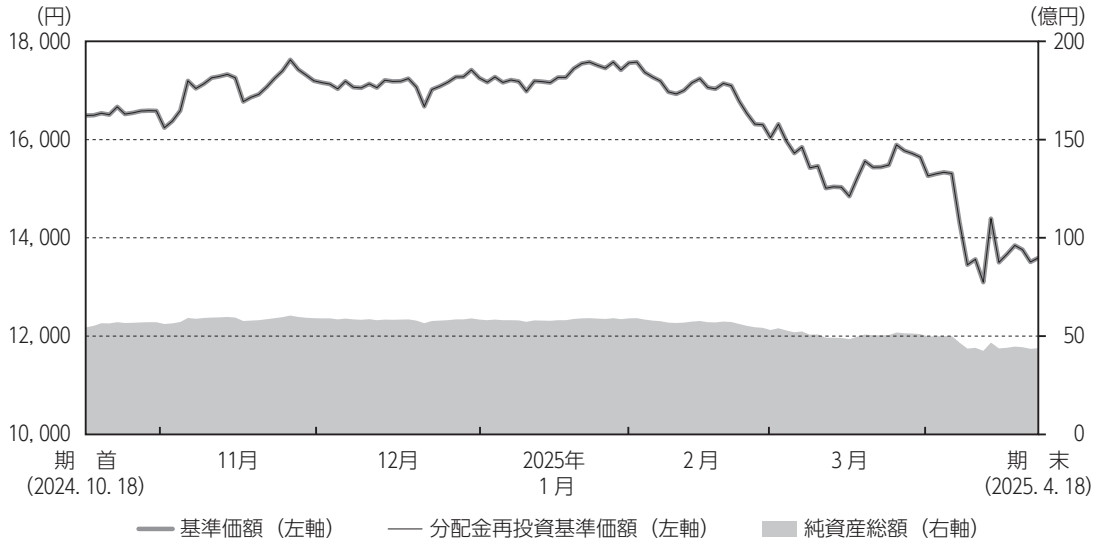
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：16,492円

期末：13,593円（分配金0円）

騰落率：△17.6%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

米国中型株式市況が下落したことや、米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2024年10月18日	円 16,492	% —	32,959	% —	% 93.6	% —	% 1.7
10月末	16,587	0.6	33,573	1.9	92.9	—	1.7
11月末	17,196	4.3	34,019	3.2	93.7	—	1.6
12月末	17,254	4.6	35,561	7.9	94.2	—	1.6
2025年1月末	17,560	6.5	35,322	7.2	94.5	—	1.6
2月末	16,039	△ 2.7	33,078	0.4	96.1	—	1.7
3月末	15,261	△ 7.5	31,492	△ 4.5	97.4	—	1.8
(期末)2025年4月18日	13,593	△ 17.6	28,415	△ 13.8	94.6	—	1.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2024. 10. 19 ～ 2025. 4. 18）

米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、2024年11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことなどから、当作成期首より上昇しました。12月中旬にF R B（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、C P I（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、株価は下落しました。4月初めに公表された関税政策は市場予想を上回る厳しい内容となり、株価はさらに下落して当作成期末を迎えました。

為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米国金利の上昇に連れて、米ドル為替相場は、当作成期首より円安基調となりました。2024年11月半ばになると、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、再度円安が進行しました。2025年1月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月以降も、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したこと、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高が進行しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性があるかとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2024. 10. 19 ~ 2025. 4. 18)

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券に投資し、組入比率を高位に維持しました。

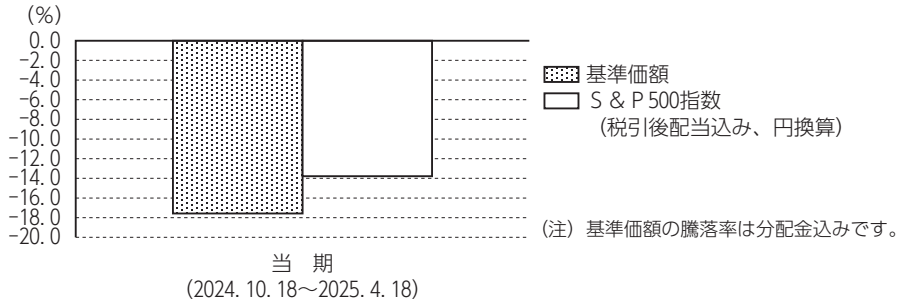
■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

セクター別では、関税引き上げによる影響が比較的少ないとみている金融と、相場変動時におけるディフェンシブ性、AI（人工知能）の利用拡大を受けた電力需要の増加による恩恵が期待できる公益事業の比率を引き上げました。一方で、FDA（米国食品医薬品局）の人員削減などの悪影響が懸念されるヘルスケアと関税引き上げが重しになると予想される資本財・サービスの比率を引き下げました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項目	当 期	
	2024年10月19日 ～2025年4月18日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		6,475

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の中型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・U S・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、F R B（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざしていく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 10. 19~2025. 4. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	147円	0.894%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,457円です。
（投 信 会 社）	(77)	(0.466)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(68)	(0.411)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.006	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(1)	(0.006)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0.000)	
（投 資 証 券）	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	4	0.022	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	152	0.922	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

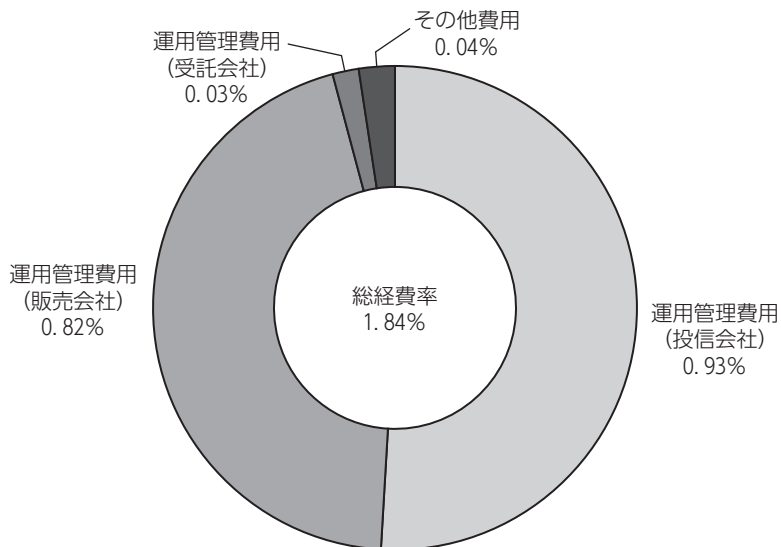
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2024年10月19日から2025年4月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	105,934	319,900	161,099	478,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年10月19日から2025年4月18日まで)

項 目	当 期
	ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,292,344千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	5,719,805千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.22

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	1,816,771	1,761,606	4,386,575	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド	4,386,575	98.8
コール・ローン等、その他	51,921	1.2
投資信託財産総額	4,438,496	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.46円です。

(注3) ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,712,338千円)の投資信託財産総額(4,745,226千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年4月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	4,438,496,814円
コール・ローン等	49,421,296
ダイワ/ジャナス米国中型グロース株マザーファンド(評価額)	4,386,575,518
未収入金	2,500,000
(B) 負債	51,789,976
未払解約金	1,982,389
未払信託報酬	49,655,356
その他未払費用	152,231
(C) 純資産総額(A-B)	4,386,706,838
元本	3,227,095,683
次期繰越損益金	1,159,611,155
(D) 受益権総口数	3,227,095,683口
1万口当り基準価額(C/D)	13,593円

* 期首における元本額は3,301,883,960円、当作成期間中における追加設定元本額は217,465,472円、同解約元本額は292,253,749円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,593円です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）

■損益の状況

当期 自 2024年10月19日 至 2025年 4月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	50,293円
受取利息	50,293
(B) 有価証券売買損益	△ 889,293,230
売買益	24,719,045
売買損	△ 914,012,275
(C) 信託報酬等	△ 49,807,587
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 939,050,524
(E) 前期繰越損益金	1,636,474,289
(F) 追加信託差損益金	462,187,390
(配当等相当額)	(453,357,424)
(売買損益相当額)	(8,829,966)
(G) 合計 (D + E + F)	1,159,611,155
次期繰越損益金 (G)	1,159,611,155
追加信託差損益金	462,187,390
(配当等相当額)	(453,357,424)
(売買損益相当額)	(8,829,966)
分配準備積立金	1,636,474,289
繰越損益金	△ 939,050,524

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：13,816,366円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	453,357,424
(d) 分配準備積立金	1,636,474,289
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,089,831,713
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,089,831,713
(h) 受益権総口数	3,227,095,683口

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書に記載すべき事項の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から運用報告書の交付の請求があった場合には、これを交付します。

<変更後>

（運用状況にかかる情報の提供）

- ①委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める事項にかかる情報を電磁的方法により提供します。
- ②前項の規定にかかわらず、委託者は、受益者から前項に定める情報の提供について、書面の交付の方法による提供の請求があった場合には、当該方法により行なうものとします。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

運用報告書 第15期（決算日 2025年4月18日）

（作成対象期間 2024年10月19日～2025年4月18日）

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

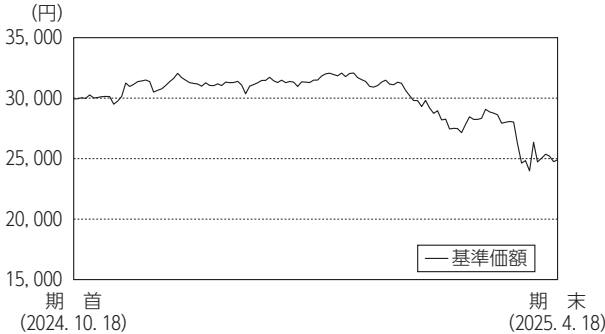
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）および不動産投資信託証券
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：29,939円 期末：24,901円 騰落率：△16.8%

【基準価額の主な変動要因】

米国中型株式市況が下落したことや、米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国中型株式市況

米国中型株式市場は下落しました。

米国中型株式市場は、2024年11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利し、米国景気の先行きに対する期待が高まったことなどから、当作成期首より上昇しました。12月中旬にFRB（米国連邦準備制度理事会）が0.25%ポイントの利下げを決定した際、今後の利下げペースの減速が示唆されたことで長期金利が上昇し、これを嫌気して株価は小幅に下落しましたが、2025年1月中旬以降は、CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回り長期金利が低下したことや良好な企業決算などが好感され、株価は再び上昇しました。2月下旬以降は、経済指標の悪化やトランプ政権による関税引き上げへの懸念の強まりから、株価は下落しました。4月初めに公表された関税政策は市場予想を上回る厳しい内容となり、株価はさらに下落して当作成期末を迎えました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で下落しました。

米国金利の上昇に連れて、米ドル為替相場は、当作成期首より円安基調となりました。2024年11月半ばになると、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。しかし12月に入ると、米国金利が上昇したことや、日銀が金融政策決定会合において政策金利を据え置いたことなどから、再度円安が進行しました。2025年1月に入ると、日米金利差の動きにおおむね連れる展開となり、日銀が月内の金融政策決定会合において利上げを行う可能性が高まったことで金利差が縮小し、円高に転じました。2月以降も、米国金利の低下や日銀の審議委員が利上げを進める方針を示したこと、米国の関税政策を発端として市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円高が進行しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

米国経済のソフトランディングやインフレ圧力緩和による利下げ開始は、米国中型株式市場にとってプラスとみています。その一方で、住宅着工件数の鈍化や低所得者層の消費に弱さが見られることから、景気減速の兆候がさらに強まれば、市場の変動性が高まる可能性がありますとみています。当戦略はこうしたリスクを意識したポジショニングを維持し、バリュエーションが収益成長に見合わない銘柄への投資を回避しており、慎重なアプローチが求められる局面では、当戦略の投資手法の有効性が高まると考えます。今後も持続可能な成長力と強力な競争優位性を持ち、負債水準が低くバランスシートが強固で、潤沢なフリー・キャッシュ・フローと健全な収益見通しを持つ企業の発掘に重点を置き、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざす方針です。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

年月日	基準価額		S&P500指数 (税引後配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率	投資証券組入比率
	円	%	騰落率 (参考指数)	%	%	%	%
(期首) 2024年10月18日	29,939	—	32,959	—	93.7	—	1.7
10月末	30,133	0.6	33,573	1.9	93.0	—	1.7
11月末	31,280	4.5	34,019	3.2	93.7	—	1.6
12月末	31,435	5.0	35,561	7.9	94.3	—	1.6
2025年1月末	32,041	7.0	35,322	7.2	94.5	—	1.6
2月末	29,308	△2.1	33,078	0.4	96.1	—	1.7
3月末	27,930	△6.7	31,492	△4.5	97.3	—	1.8
(期末) 2025年4月18日	24,901	△16.8	28,415	△13.8	94.6	—	1.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) S & P 500指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

セクター別では、関税引き上げによる影響が比較的少ないとみている金融と、相場変動時におけるディフェンシブ性、AI（人工知能）の利用拡大を受けた電力需要の増加による恩恵が期待できる公益事業の比率を引き上げました。一方で、FDA（米国食品医薬品局）の人員削減などの悪影響が懸念されるヘルスケアと関税引き上げが重しになると予想される資本財・サービスの比率を引き下げました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ＵＳ・エルエルシーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。

トランプ政権の連邦予算削減やインフレ再燃に繋がる関税政策によって経済活動が抑制される可能性があり、米国の成長鈍化と株式市場のボラティリティ上昇のリスクが高まりつつあります。関税政策によって、FRB（米国連邦準備制度理事会）の金融政策に関する舵取りがより難しいものとなっており、金利がより長期にわたって高止まりする可能性があることから、企業業績や経済への影響を注視していく方針です。このような不確実性の高い環境においては、政策や経済成長の着地点を予想するよりも、持続的な収益成長、質の高いバランスシート、経験豊富な経営陣、高い競争力、適正なバリュエーションを持つ銘柄を見極めることが重要であると考えます。今後も米国経済の動向を注視しつつ、安定したリスク調整後リターンを獲得をめざしていく方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当	期
売買委託手数料		2円
(株式)	(2)
(投資証券)	(0)
有価証券取引税		0
(株式)	(0)
(投資証券)	(0)
その他費用		6
(保管費用)	(6)
(その他)	(0)
合計		8

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 株式

(2024年10月19日から2025年4月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株 452.65 ()	千アメリカ・ドル 4,034 ()	百株 521.73	千アメリカ・ドル 4,543

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2024年10月19日から2025年4月18日まで)

銘柄	柄	買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	アメリカ LAMAR ADVERTISING CO-A LINEAGE INC	千口	千アメリカ・ドル	千口	千アメリカ・ドル
		0.127	17	0.187	22
		1.648	105	0.153	8

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株 式

(2024年10月19日から2025年4月18日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
WILLIS TOWERS WATSON PLC (アイルランド)	1.463	69,765	47,686	GODADDY INC - CLASS A (アメリカ)	3.444	101,065	29,345
PTC INC (アメリカ)	2.471	64,161	25,965	WBABTEC CORP (アメリカ)	2.743	83,508	30,444
FERGUSON ENTERPRISES LTD (ジャージー)	1.423	37,446	26,315	L3HARRIS TECHNOLOGIES INC (アメリカ)	2.215	74,511	33,639
ON SEMICONDUCTOR CORP (アメリカ)	2.872	28,961	10,084	WR BERKLEY CORP (アメリカ)	7.331	68,897	9,398
REVOLUTION MEDICINES INC (アメリカ)	3.914	28,131	7,187	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	2.802	40,542	14,469
LANTHEUS HOLDINGS INC (アメリカ)	1.805	26,100	14,460	MICROCHIP TECHNOLOGY INC (アメリカ)	2.984	28,627	9,593
GLOBUS MEDICAL INC - A (アメリカ)	2.314	24,882	10,753	DENTSPLY SIRONA INC (アメリカ)	9.655	28,069	2,907
CLEAN HARBORS INC (アメリカ)	0.714	22,996	32,207	FIDELITY NATIONAL INFO SERV (アメリカ)	1.994	27,447	13,765
FORTIVE CORP (アメリカ)	1.965	22,851	11,629	AMDOCS LTD (ガーンジィ)	1.407	17,863	12,695
ONEOK INC (アメリカ)	1.984	22,745	11,464	ARGENX SE - ADR (オランダ)	0.135	12,835	95,077

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘 柄	期 首	当 期	期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
BROADRIDGE FINANCIAL Solutio	38.18	38.13	899	128,113	資本財・サービス
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	19.22	—	—	—	金融
WR BERKLEY CORP	206.35	140.59	967	137,795	金融
DOLLAR TREE INC	25.28	25.26	199	28,478	生活必需品
DENTSPLY SIRONA INC	93.12	—	—	—	ヘルスケア
ALLIANT ENERGY CORP	147.87	147.71	898	127,940	公益事業
FORTIVE CORP	87.85	103.58	677	96,563	資本財・サービス
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	180.14	179.93	1,373	195,655	資本財・サービス
ARAMARK	181.16	191.03	614	87,547	一般消費財・サービス
DTE ENERGY COMPANY	36.72	36.68	489	69,785	公益事業
CBOE GLOBAL MARKETS INC	11.57	11.55	250	35,716	金融
GLOBAL PAYMENTS INC	32.79	29.25	203	28,943	金融
BURLINGTON STORES INC	11.42	11	249	35,490	一般消費財・サービス
TELEFLEX INC	52.11	52.37	678	96,600	ヘルスケア
HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	47.46	47.39	612	87,245	資本財・サービス
CLEAN HARBORS INC	16.32	22.6	467	66,626	資本財・サービス
WEX INC	60.24	59.49	732	104,419	金融
CDW CORP/DE	19.7	22.85	346	49,306	情報技術
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	24.89	28.05	858	122,285	金融
GLOBUS MEDICAL INC - A	—	22.53	159	22,791	ヘルスケア
AMDOCS LTD	90.35	79.59	662	94,312	情報技術
CIMPRESS PLC	50.93	49.07	206	29,437	資本財・サービス
ICU MEDICAL INC	25.64	25.62	355	50,612	ヘルスケア

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	21.38	—	—	—	資本財・サービス
NXP SEMICONDUCTORS NV	33.01	32.59	556	79,270	情報技術
ZIFF DAVIS INC	26.84	26.52	80	11,515	コミュニケーション・サービス
SAREPTA THERAPEUTICS INC	17.66	7.55	40	5,785	ヘルスケア
KLA CORP	4.54	3.85	244	34,796	情報技術
RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	110.37	110.24	503	71,739	資本財・サービス
RB GLOBAL INC	56.42	56.36	548	78,186	資本財・サービス
GILDAN ACTIVEWEAR INC	137.56	137.41	565	80,513	一般消費財・サービス
WAYFAIR INC- CLASS A	33.14	38.58	102	14,625	一般消費財・サービス
TRANSUNION	37.65	37.61	274	39,053	資本財・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	28.77	—	—	—	情報技術
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	19.77	19.75	325	46,438	ヘルスケア
GODADDY INC - CLASS A	94.36	60.95	1,046	149,155	情報技術
ARGENX SE - ADR	6.81	5.7	339	48,412	ヘルスケア
STERIS PLC	15.81	15.79	350	49,989	ヘルスケア
INGERSOLL-RAND INC	57.19	59.1	425	60,653	資本財・サービス
DAYFORCE INC	79.25	87.62	474	67,591	資本財・サービス
CORTEVA INC	93.59	93.48	558	79,556	素材
REVVITY INC	79.81	79.71	731	104,266	ヘルスケア
AVANTOR INC	233.92	233.65	352	50,261	ヘルスケア
DYNATRACE INC	46.72	49.51	213	30,399	情報技術
DOORDASH INC - A	24.21	23.32	422	60,210	一般消費財・サービス
REVOLUTION MEDICINES INC	—	37.85	139	19,821	ヘルスケア
VAXCYTE INC	32.81	46.34	142	20,233	ヘルスケア
SENSATA TECHNOLOGIES HOLDING	197.58	197.35	384	54,738	資本財・サービス
ON SEMICONDUCTOR CORP	108.93	132.65	459	65,460	情報技術
AMEREN CORPORATION	64.45	64.38	635	90,477	公益事業
APPLOVIN CORP CLASS A	29.65	29.64	706	100,588	情報技術
WABTEC CORP	26.5	—	—	—	資本財・サービス
WATERS CORP	12.4	12.39	397	56,660	ヘルスケア
WILLIS TOWERS WATSON PLC	—	14.1	452	64,478	金融
ONEOK INC	—	19.84	171	24,372	エネルギー
RENTOKIL INITIAL ADS EACH REPRESENT	135.35	135.2	312	44,453	資本財・サービス
TFI INTERNATIONAL INC	33.82	33.78	262	37,415	資本財・サービス
TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	19.46	18.72	865	123,259	情報技術
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	100.5	100.38	831	118,390	コミュニケーション・サービス
LIBERTY MEDIA FORMULA ONE CORP SER	12.81	12.8	96	13,698	コミュニケーション・サービス
VERALTO CORP	36.43	31.4	281	40,053	資本財・サービス
API GROUP CORP	98.26	117.32	408	58,145	資本財・サービス
LANTHEUS HOLDINGS INC	—	17.39	176	25,100	ヘルスケア
COOPER INC	32.86	32.83	261	37,186	ヘルスケア
UL SOLUTIONS INC CLASS A	18.77	25.19	140	19,981	資本財・サービス
FERGUSON ENTERPRISES LTD	40.52	52.86	868	123,687	資本財・サービス
TE CONNECTIVITY LTD	16.58	15.54	200	28,611	情報技術
STANDARDAERO	41.73	59.7	152	21,670	資本財・サービス
FIRSTSERVICE SUBORDINATE VOTING CO	—	7.17	123	17,571	不動産
FLEX LTD	296.45	290.78	917	130,652	情報技術

銘 柄	株 数	株 数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
ILLUMINA INC	19.75	19.73	140	20,012	ヘルスケア	
CARMAX INC	75.03	74.94	484	68,955	一般消費財・サービス	
PTC INC	—	23.84	342	48,756	情報技術	
BOSTON SCIENTIFIC CORP	142.27	114.25	1,086	154,817	ヘルスケア	
フ ァ ン ド 合 計	株 数、金 額	4,311	4,241.92	31,499	4,487,347	
	銘柄数<比率>	67 銘柄	69 銘柄		<94.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘 柄	□ 数	□ 数	期 末		
			評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
	千□	千□	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
LAMAR ADVERTISING CO-A	3,519	3,459	376	53,706	
LINEAGE INC	2,556	4,051	226	32,265	
合 計	□ 数、金 額	6,075	7,51	603	85,972
	銘柄数<比率>	2 銘柄	2 銘柄		<1.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年4月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 4,487,347	% 94.6
投資証券	85,972	1.8
コール・ローン等、その他	171,905	3.6
投資信託財産総額	4,745,226	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、4月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝142.46円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,712,338千円)の投資信託財産総額(4,745,226千円)に対する比率は、99.3%です。

ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年4月18日現在

項目	当期末
(A) 資産	4,745,226,480円
コール・ローン等	168,138,407
株式（評価額）	4,487,347,809
投資証券（評価額）	85,972,875
未収入金	1,397,973
未収配当金	2,369,416
(B) 負債	3,959,979
未払金	1,459,979
未払解約金	2,500,000
(C) 純資産総額（A－B）	4,741,266,501
元本	1,904,073,049
次期繰越損益金	2,837,193,452
(D) 受益権総口数	1,904,073,049口
1万口当り基準価額（C／D）	24,901円

* 期首における元本額は1,966,594,690円、当作成期間中における追加設定元本額は122,639,351円、同解約元本額は185,160,992円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり） 142,087,753円
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし） 1,761,606,168円
 ダイワ／ジャナス米国中型グロース株ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用） 379,128円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は24,901円です。

■損益の状況

当期 自 2024年10月19日 至 2025年4月18日

項目	当期
(A) 配当等収益	25,803,620円
受取配当金	22,155,034
受取利息	3,461,341
その他収益金	187,245
(B) 有価証券売買損益	△ 987,192,693
売買益	214,927,871
売買損	△ 1,202,120,564
(C) その他費用	△ 1,151,754
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 962,540,827
(E) 前期繰越損益金	3,921,283,638
(F) 解約差損益金	△ 367,709,008
(G) 追加信託差損益金	246,159,649
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	2,837,193,452
次期繰越損益金（H）	2,837,193,452

（注1）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ／ジャナス米国中型グロース株マザーファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

（運用報告書）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

（運用状況にかかる情報）

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。